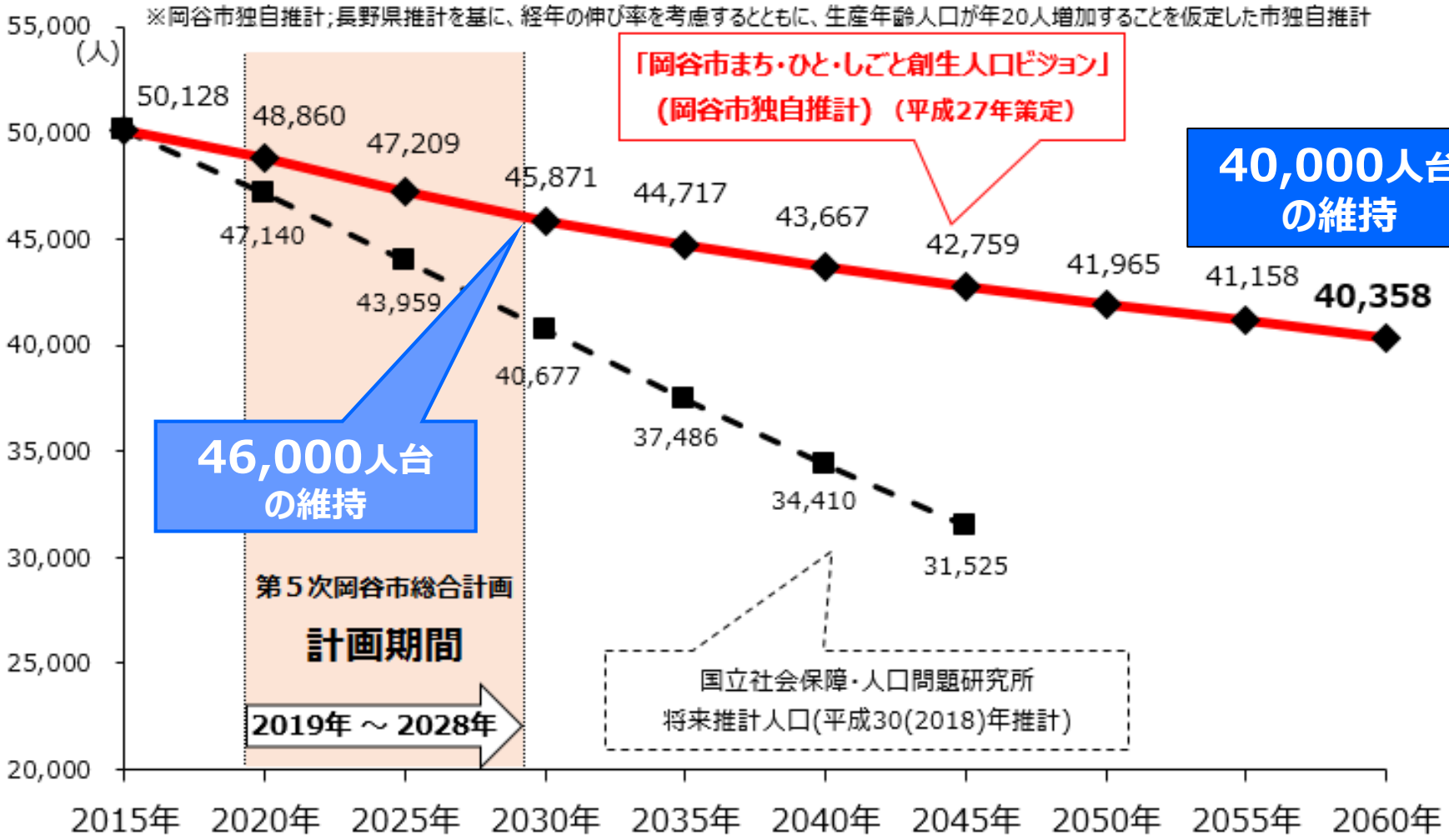


# 第1回 岡谷市基本構想審議会

## 岡谷市の人口動態

# 岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

## ■ 岡谷市の将来展望人口

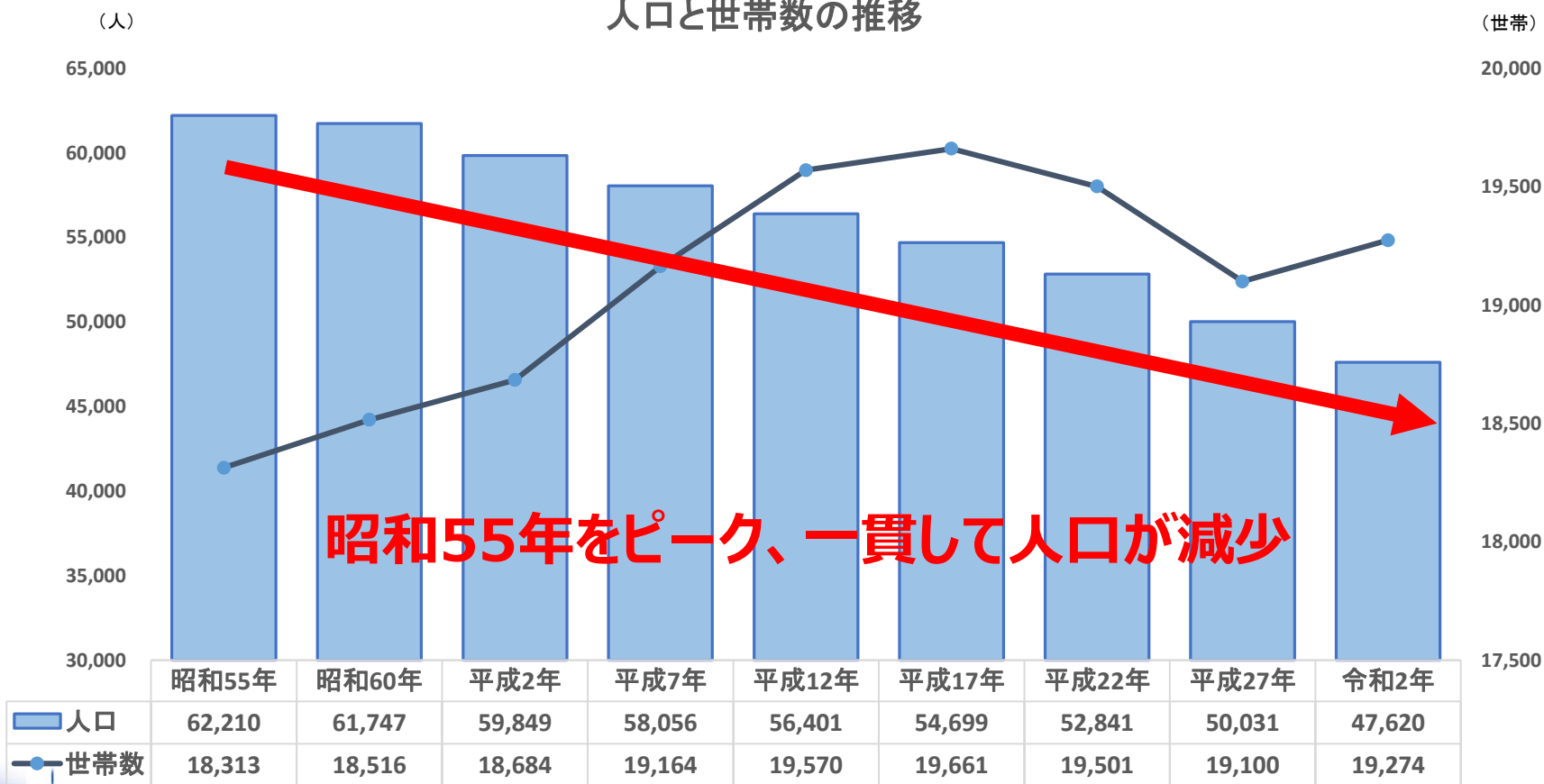


# 岡谷市の人口動態について



- 昭和55年をピークに、それ以降一貫して人口が減少
- 40年間（昭和55年から令和2年）で**14,590人**が減少 961世帯増加

人口と世帯数の推移

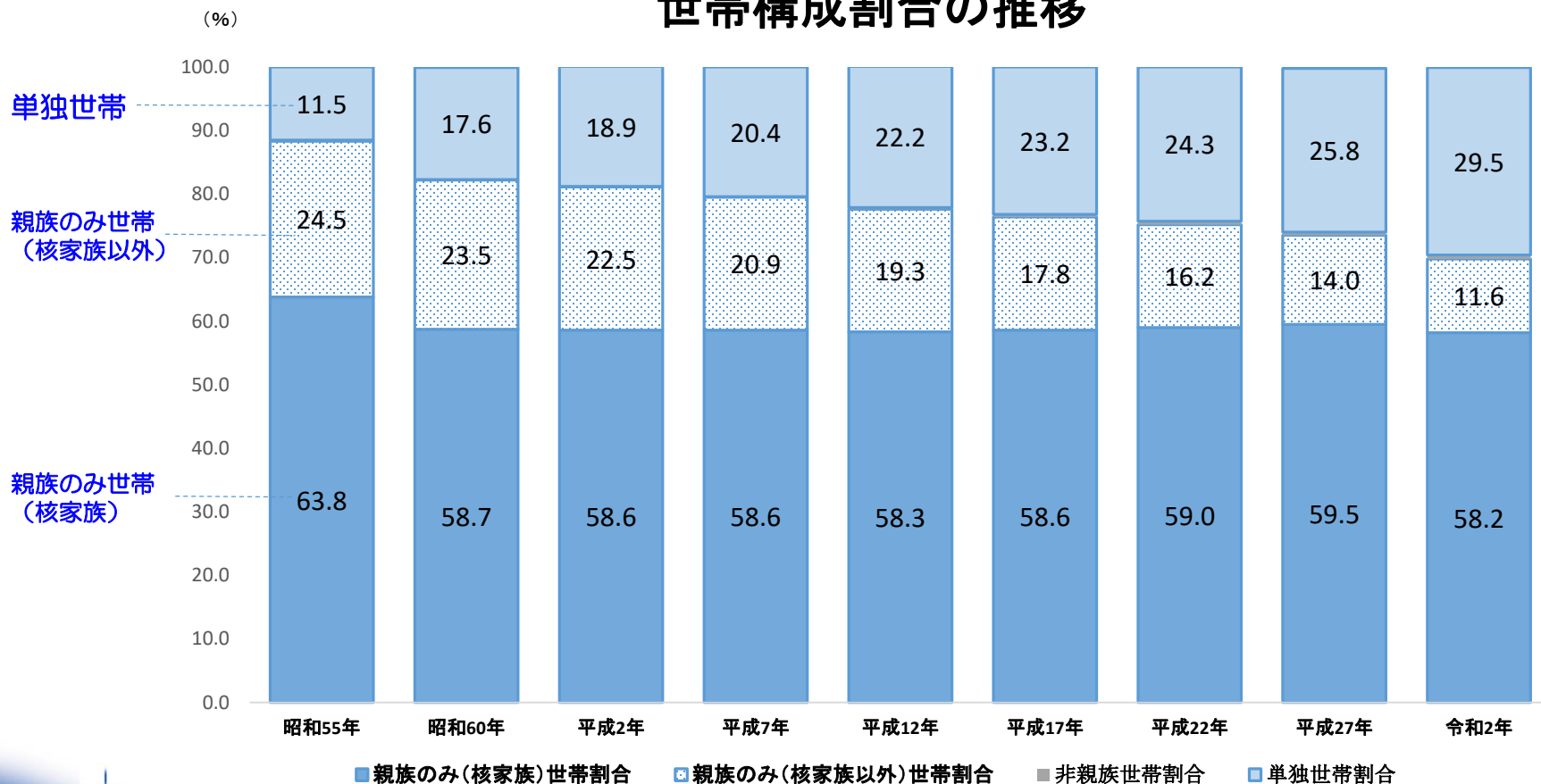


# 岡谷市の人口動態について



- 単独世帯割合の増加
- 親族のみ世帯（核家族・核家族以外）割合は減少傾向

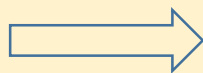
## 世帯構成割合の推移



# 岡谷市の人口動態について

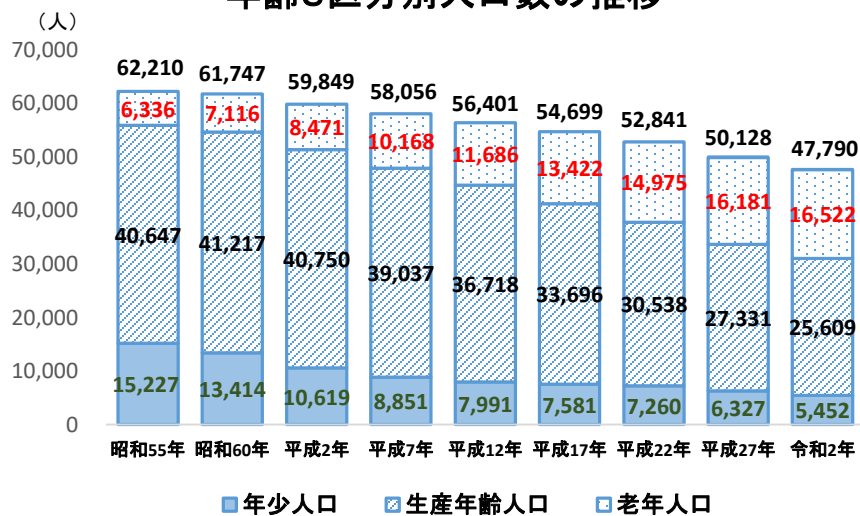


- 老年人口数・割合の増加
- 年少人口数・割合の減少

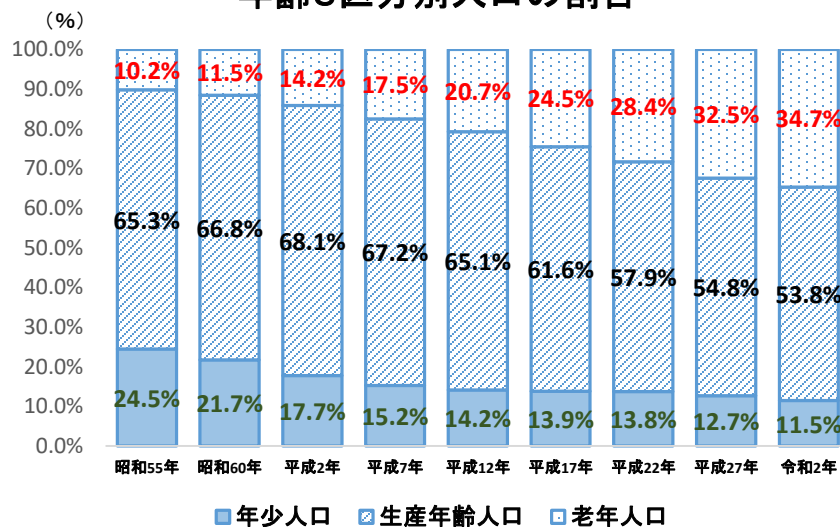


少子高齢化

年齢3区分別人口数の推移



年齢3区分別人口の割合

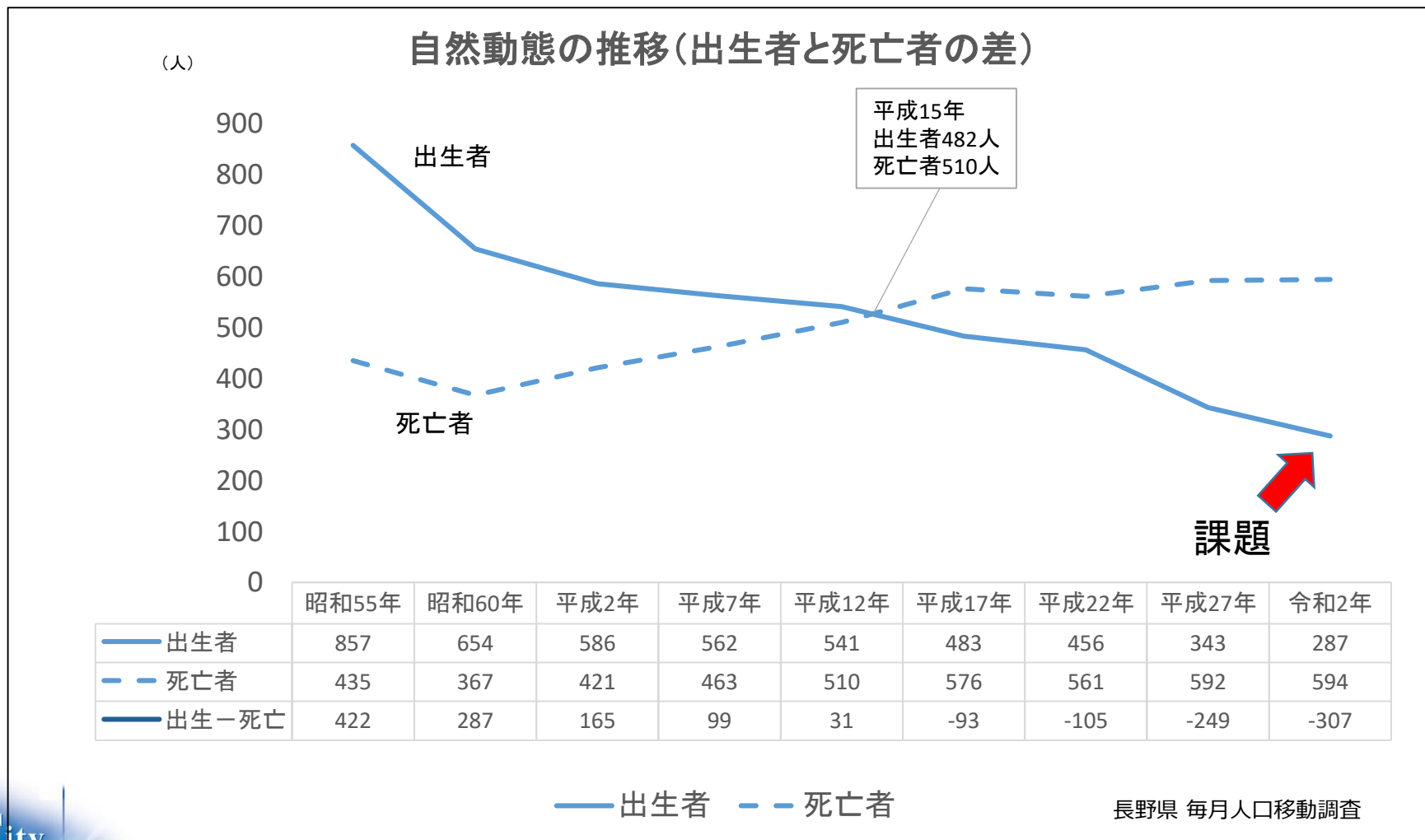


年少人口：0～14歳

生産年齢人口：15～64歳

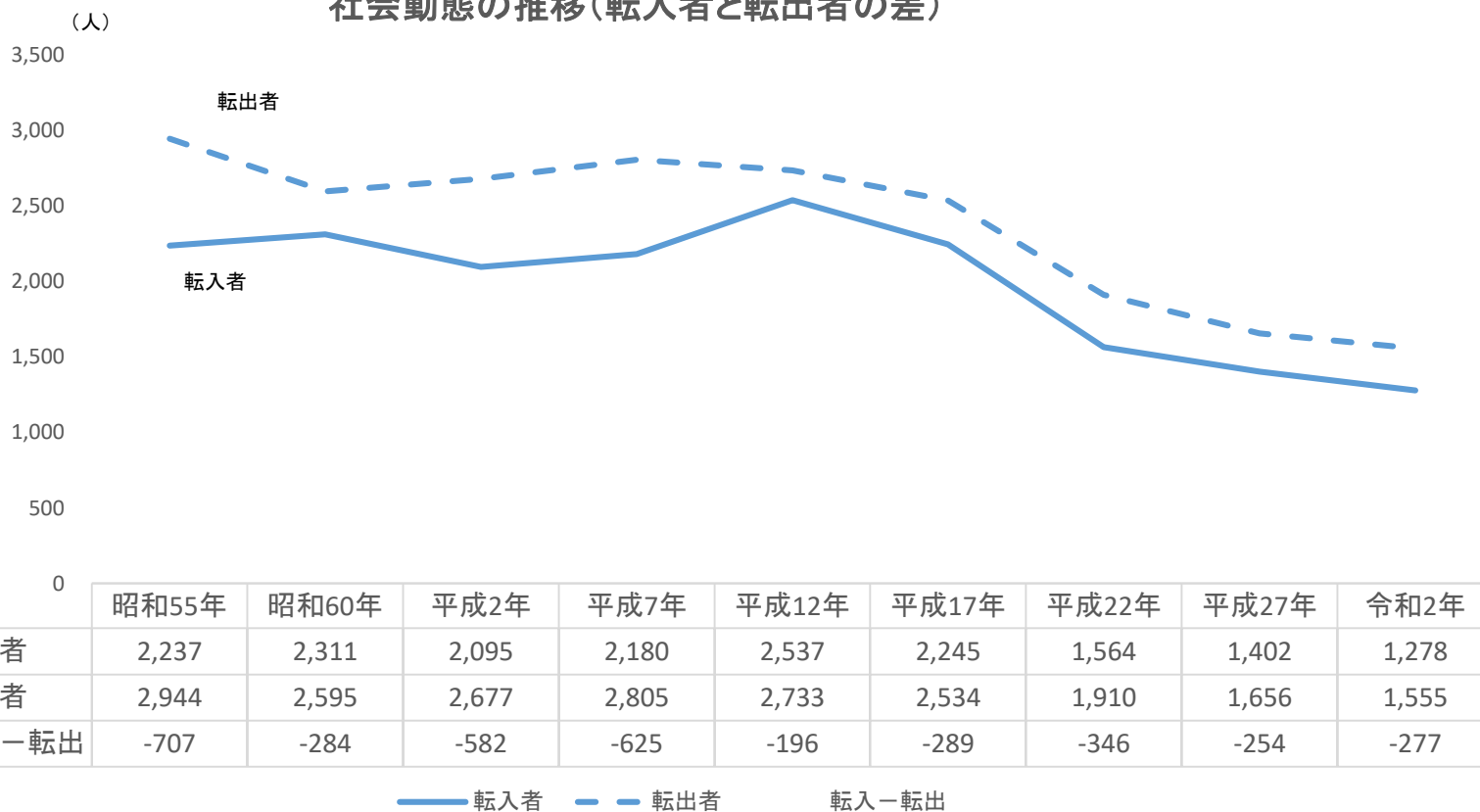
老年人口：65歳以上

## ○平成15年より死亡者数が出生者数を上回る



- 常に転出超過
- 転出超過数は縮減傾向

社会動態の推移(転入者と転出者の差)

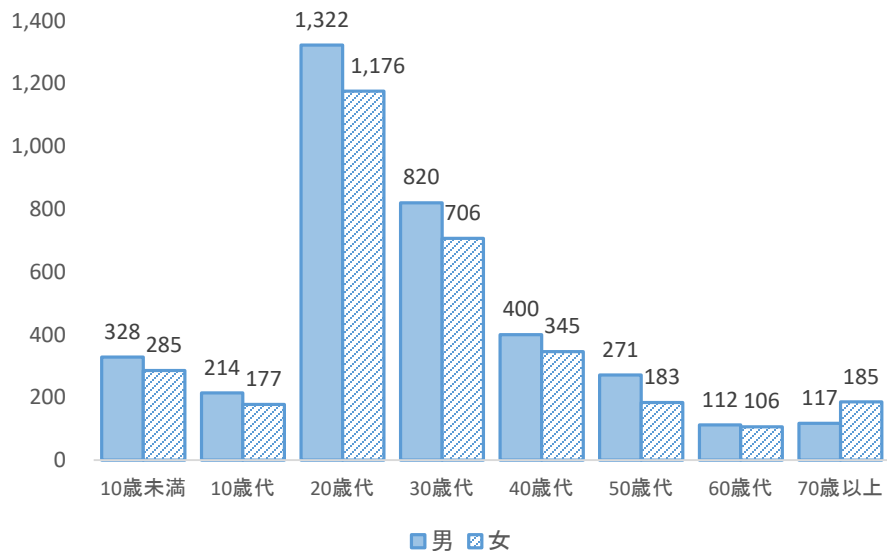


長野県 毎月人口移動調査

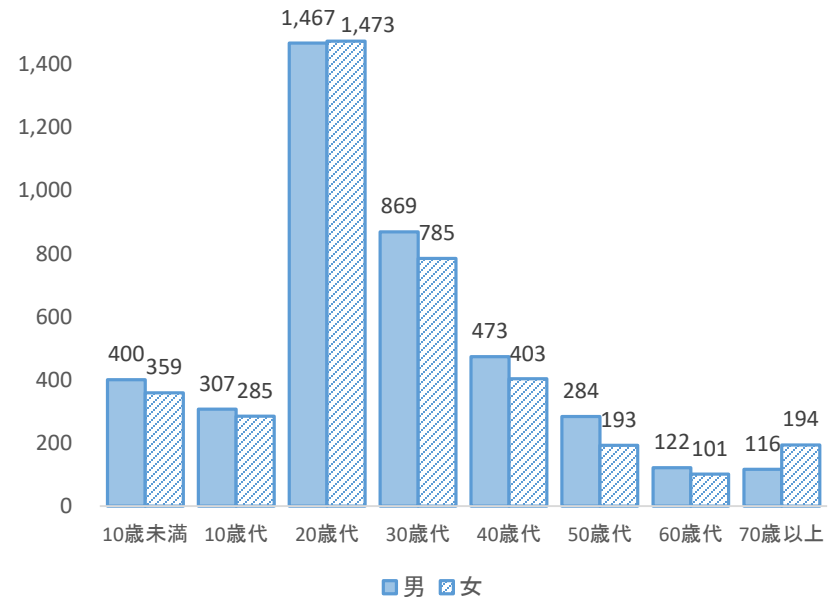
# 岡谷市の人口動態について

○ 転出、転入とも多いのは20歳代、次いで30歳代

(人) 過去5年間 年齢階級別転入者数(H29~R3)



(人) 過去5年間 年齢階級別転出者数(H29~R3)

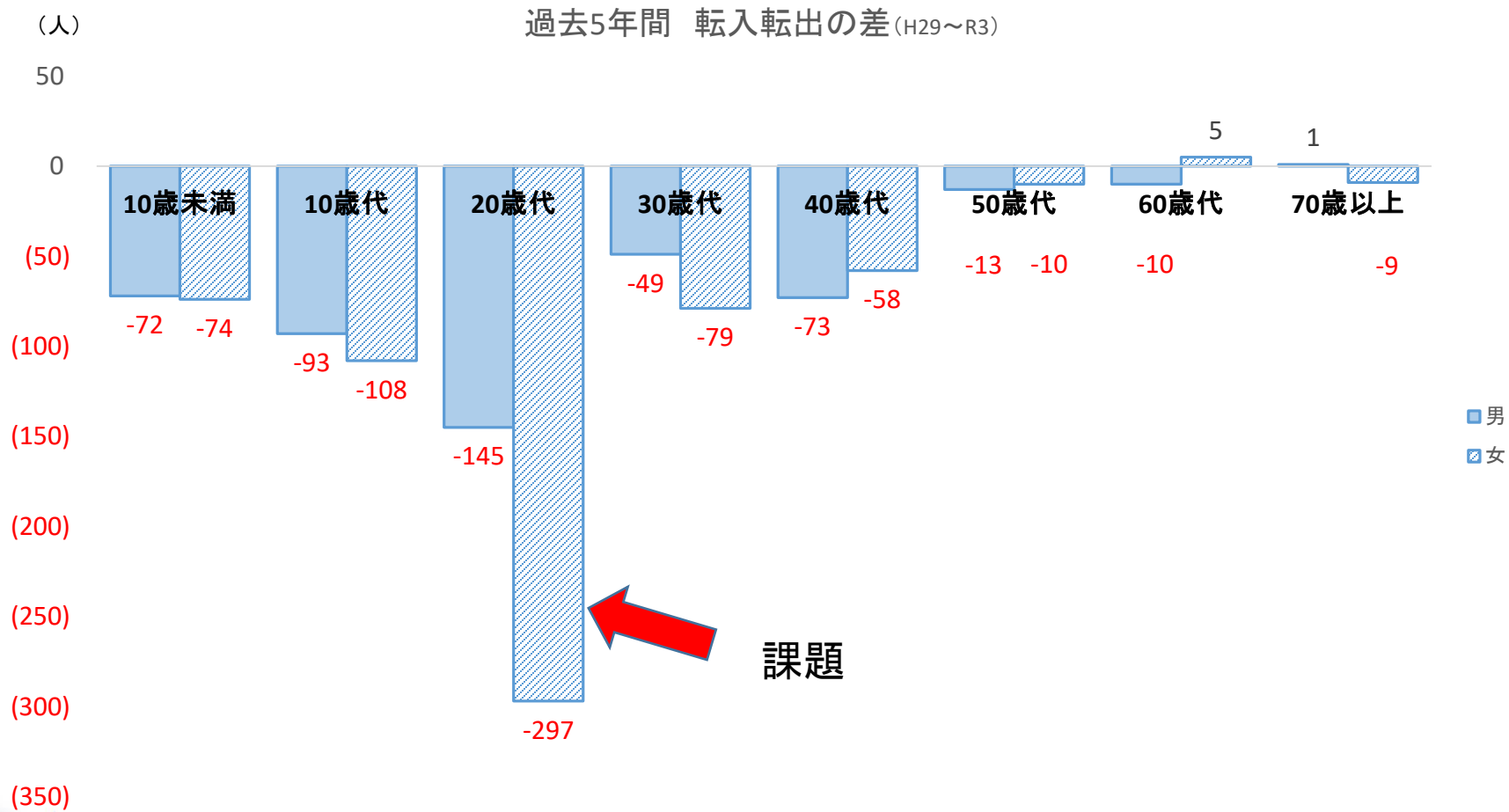


長野県 毎月人口移動調査



# 岡谷市の人口動態について

## ○ 20代女性の転出超過が突出

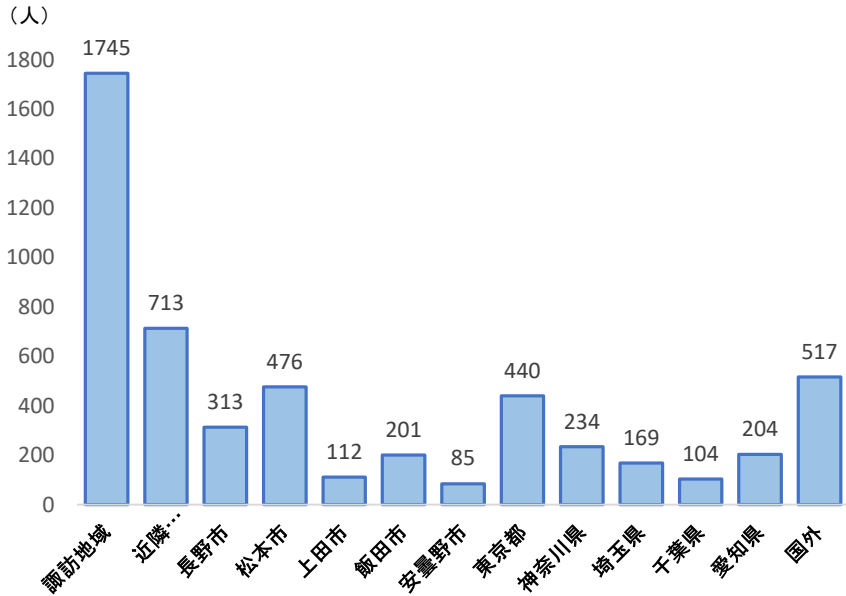


長野県 毎月人口移動調査

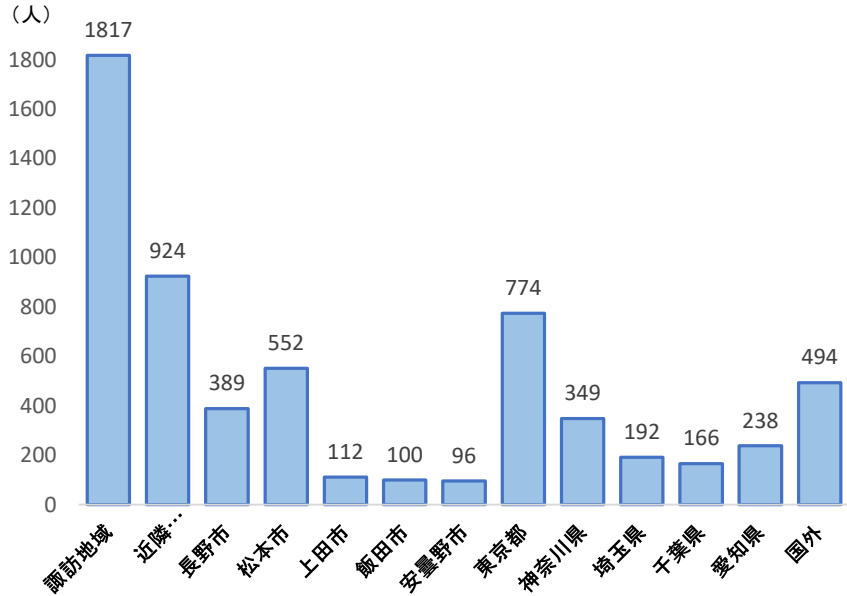
# 岡谷市の人口動態について

- 転入元で多いのは、諏訪地域、近隣市町村、松本市、東京都
- 転出先で多いのは、諏訪地域、近隣市町村、東京都、松本市

過去5年間転入状況 (H29～R3)



過去5年間転出状況 (H29～R3)



※近隣市町村: 塩尻市・伊那市・辰野町・箕輪町

長野県 毎月人口移動調査

○ 諏訪地域の他市町村への人口流出は大きく減少。

## ○ 過去 20 年間 県内他市町村との人口移動の状況

【諏訪地域】

(単位 人)

年度	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合計
平成14年～18年 (転入-転出 5カ年合計)	-159	-160	14	0		
平成19年～23年 (転入-転出 5カ年合計)	1	-115	-85	-19	-27	-245
平成24年～28年 (転入-転出 5カ年合計)	-70	-107	-74	-16	-8	-275
平成29年～令和3年 (転入-転出 5カ年合計)	-89	5	22	5	-15	-72

長野県 毎月人口移動調査

○ **近接市町村へは転出超過であるが縮減傾向**

## ○ 過去20年間 県内他市町村の人口移動の状況

【近接市町村】

(単位 人)

年度	松本市	塩尻市	伊那市	辰野町	箕輪町	合計
平成14年～18年 (転入-転出 5カ年合計)	<b>-168</b>	-84	-90	-53	<b>-113</b>	<b>-508</b>
平成19年～23年 (転入-転出 5カ年合計)	<b>-200</b>	<b>-171</b>	-48	-12	-67	<b>-498</b>
平成24年～28年 (転入-転出 5カ年合計)	<b>-130</b>	-90	-9	-78	-51	<b>-358</b>
平成29年～令和3年 (転入-転出 5カ年合計)	-76	-87	-25	-36	-63	<b>-287</b>

長野県 毎月人口移動調査

○その他市町村では、飯田市からの人口流入が大きい。

## ○過去20年間 県内他市町村の人口移動の状況

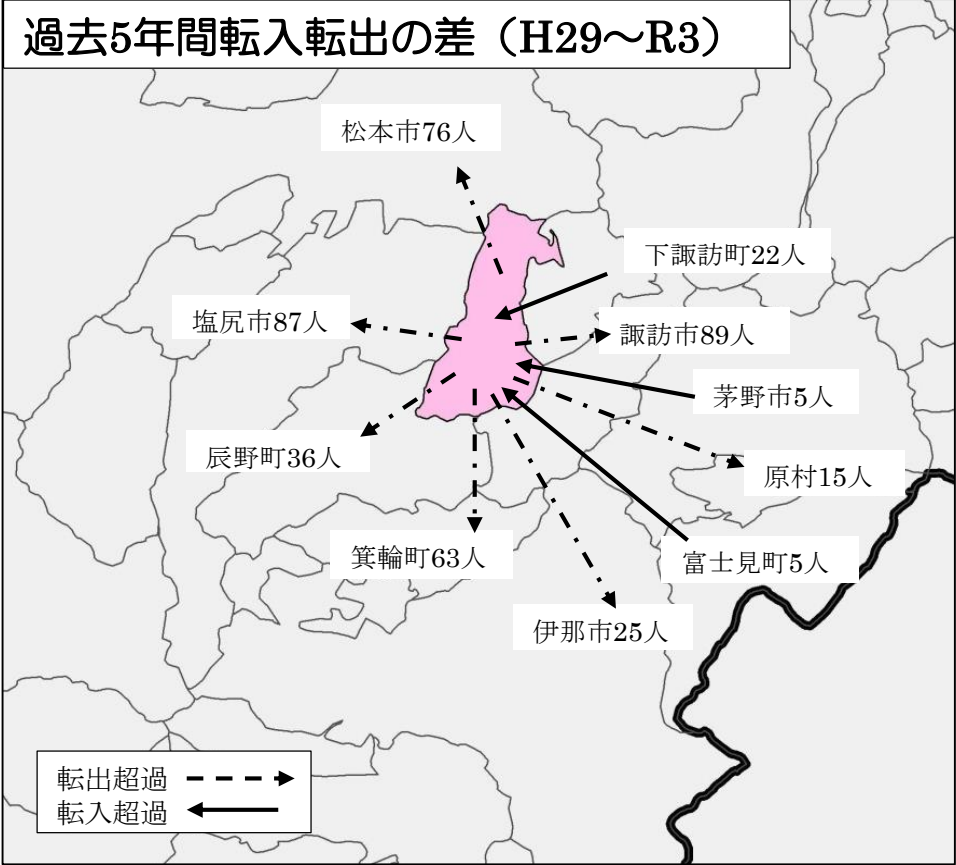
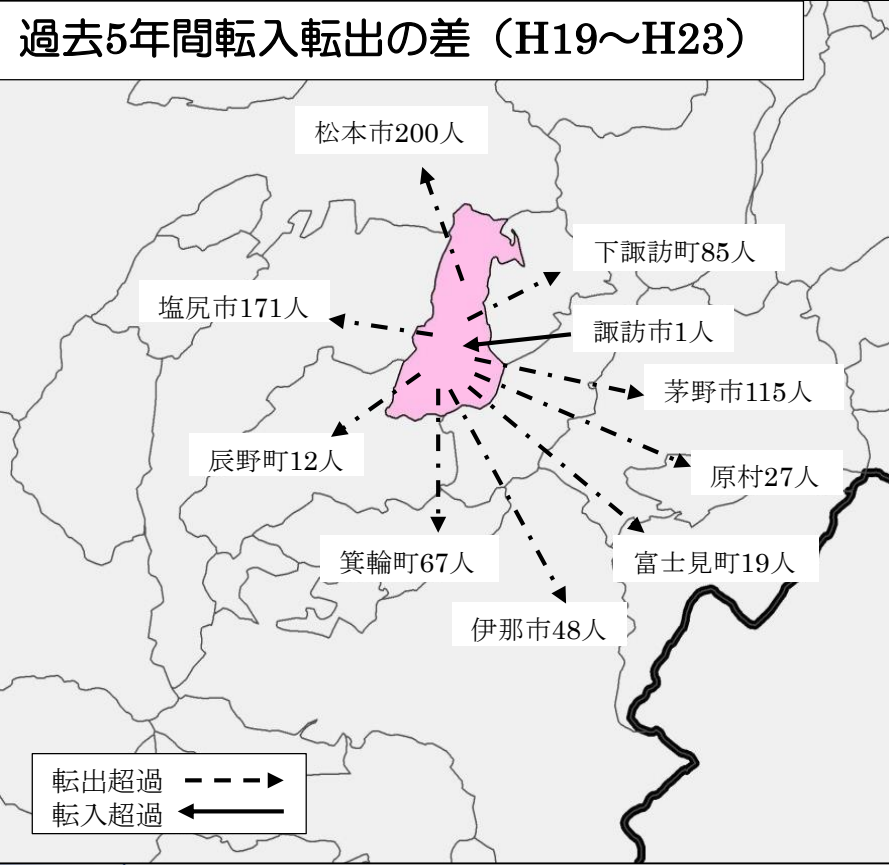
【その他市町村】

(単位 人)

年度	長野市	上田市	飯田市	安曇市	合計
平成14年～18年 (転入-転出 5カ年合計)	-19				
平成19年～23年 (転入-転出 5カ年合計)	-5	10	33	-42	-4
平成24年～28年 (転入-転出 5カ年合計)	-7	-37	54	-13	-3
平成29年～令和3年 (転入-転出 5カ年合計)	-76	18	101	-11	32

# 岡谷市の人口動態について

## ○近隣市町村の人口移動の状況



○ 東京都への人口流出は継続し、増加傾向にある。

## ○ 過去20年間の県外の人口移動の状況

(単位 人)

年度	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	愛知県	合計
平成14年～18年 (転入-転出 5カ年合計)	-49	-12	<b>-220</b>	<b>-113</b>	-68	<b>-462</b>
平成19年～23年 (転入-転出 5カ年合計)	-45	-41	<b>-195</b>	-65	<b>-104</b>	<b>-450</b>
平成24年～28年 (転入-転出 5カ年合計)	-45	-50	<b>-223</b>	-91	-58	<b>-467</b>
平成29年～令和3年 (転入-転出 5カ年合計)	-23	-62	<b>-334</b>	<b>-115</b>	-34	<b>-568</b>

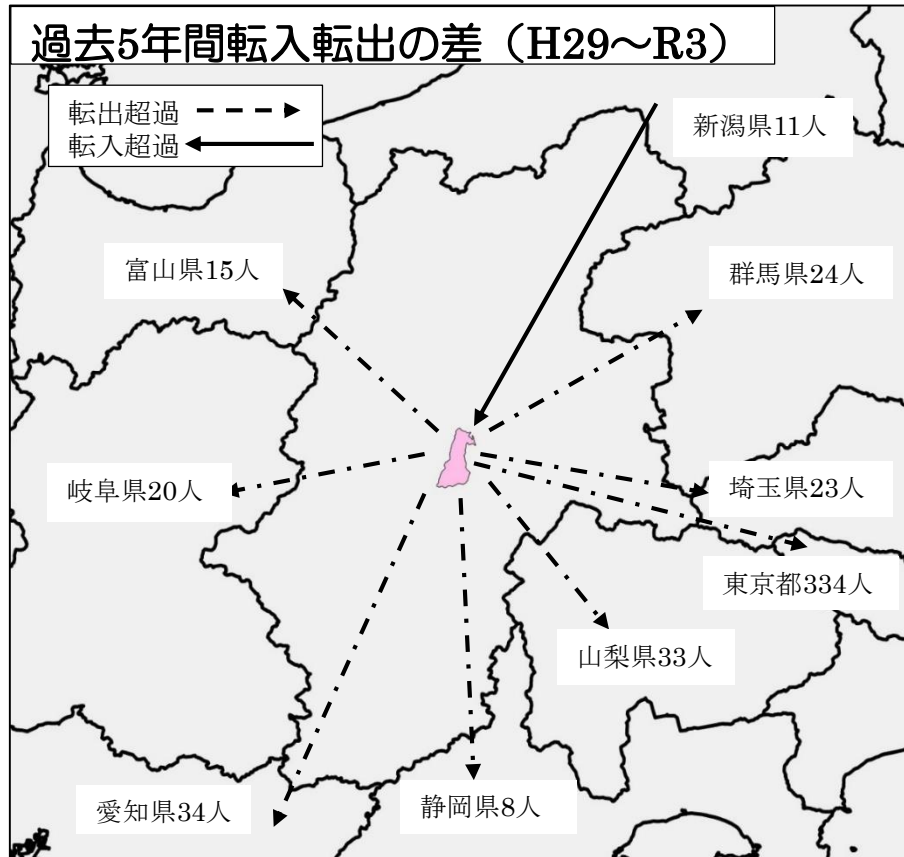
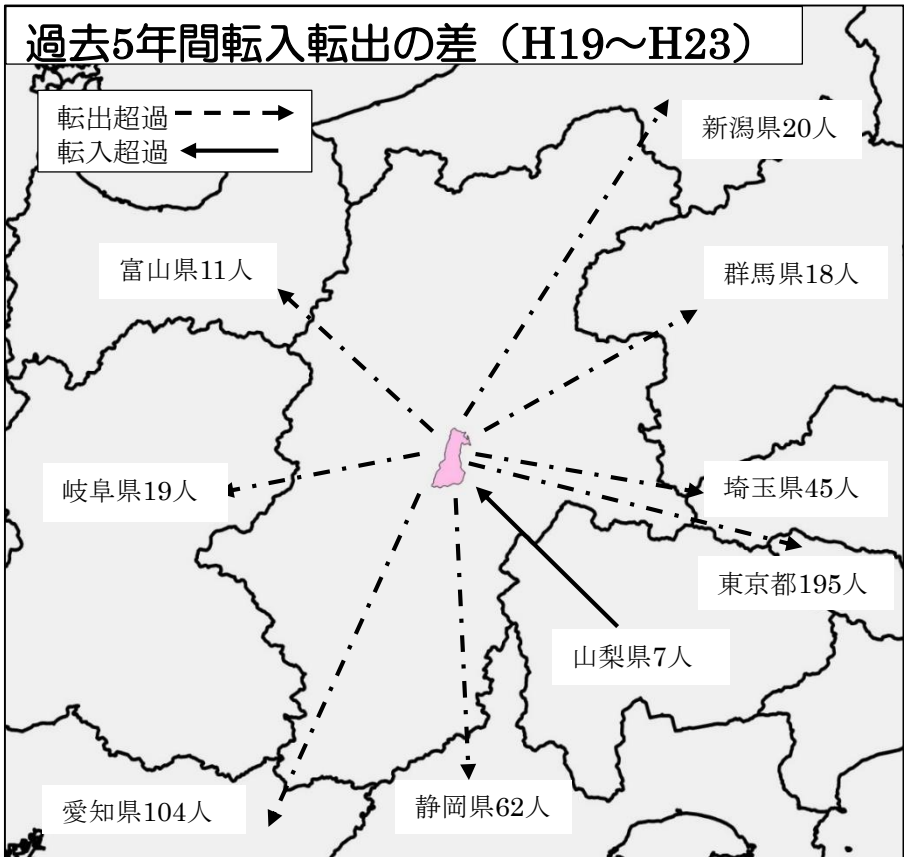
長野県 毎月人口移動調査

課題

# 岡谷市の人口動態について

○ **近隣県及び東京都へは転出超過の傾向が継続**

## ○ 近隣県及び東京都の人口移動の状況





○ 転出超過よりも、**自然減少**の拡大が顕著

人口動態の推移 (各年1～12月)

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
<b>【自然動態】</b>	422	287	165	99	31	▲ 93	▲ 105	▲ 249	▲ 307
(出生)	<b>857</b>	654	586	562	541	483	456	343	<b>287</b>
(死亡)	435	367	421	463	510	576	561	592	594
<b>【社会動態】</b>	▲ 707	▲ 284	▲ 582	▲ 625	▲ 196	▲ 289	▲ 346	▲ 254	▲ 277
(転入)	2,237	2,311	2,095	2,180	2,537	2,245	1,564	1,402	1,278
(転出)	2,944	2,595	2,677	2,805	2,733	2,534	1,910	1,656	1,555
自然動態 + 社会動態	▲ 285	3	▲ 417	▲ 526	▲ 165	▲ 382	▲ 451	▲ 503	▲ 584

長野県 毎月人口移動調査

## ○人口減少の課題

- ・出生数の減少
- ・市外への転出超過

## ○人口減少対策のポイント

- ・出生数の減少に歯止めをかけ、年少人口を増加に転じる施策
- ・20歳代、30歳代の転出を抑制し、20歳代、30歳代の転入を促進する施策